

ご 注 意

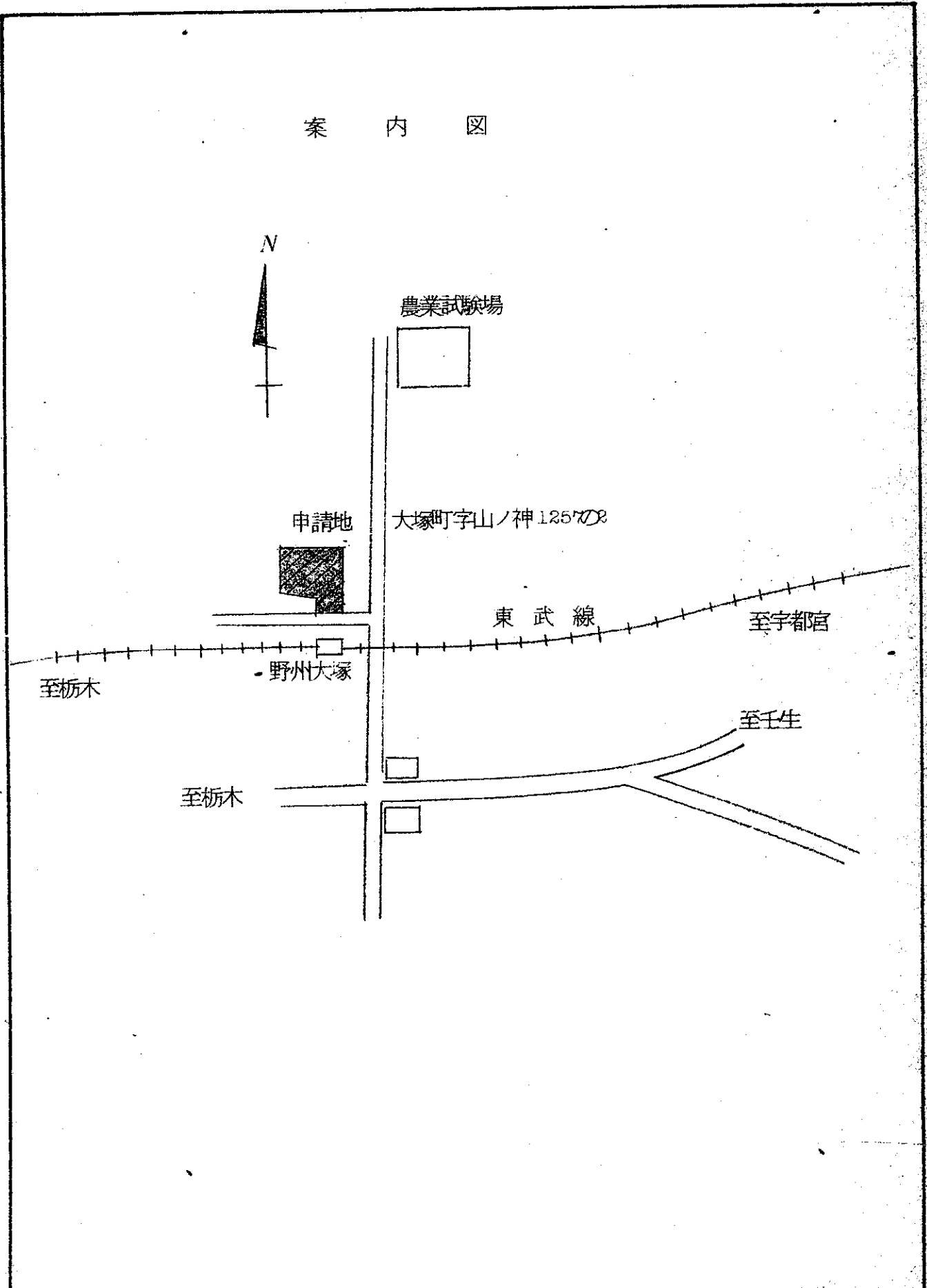
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご利用ください。

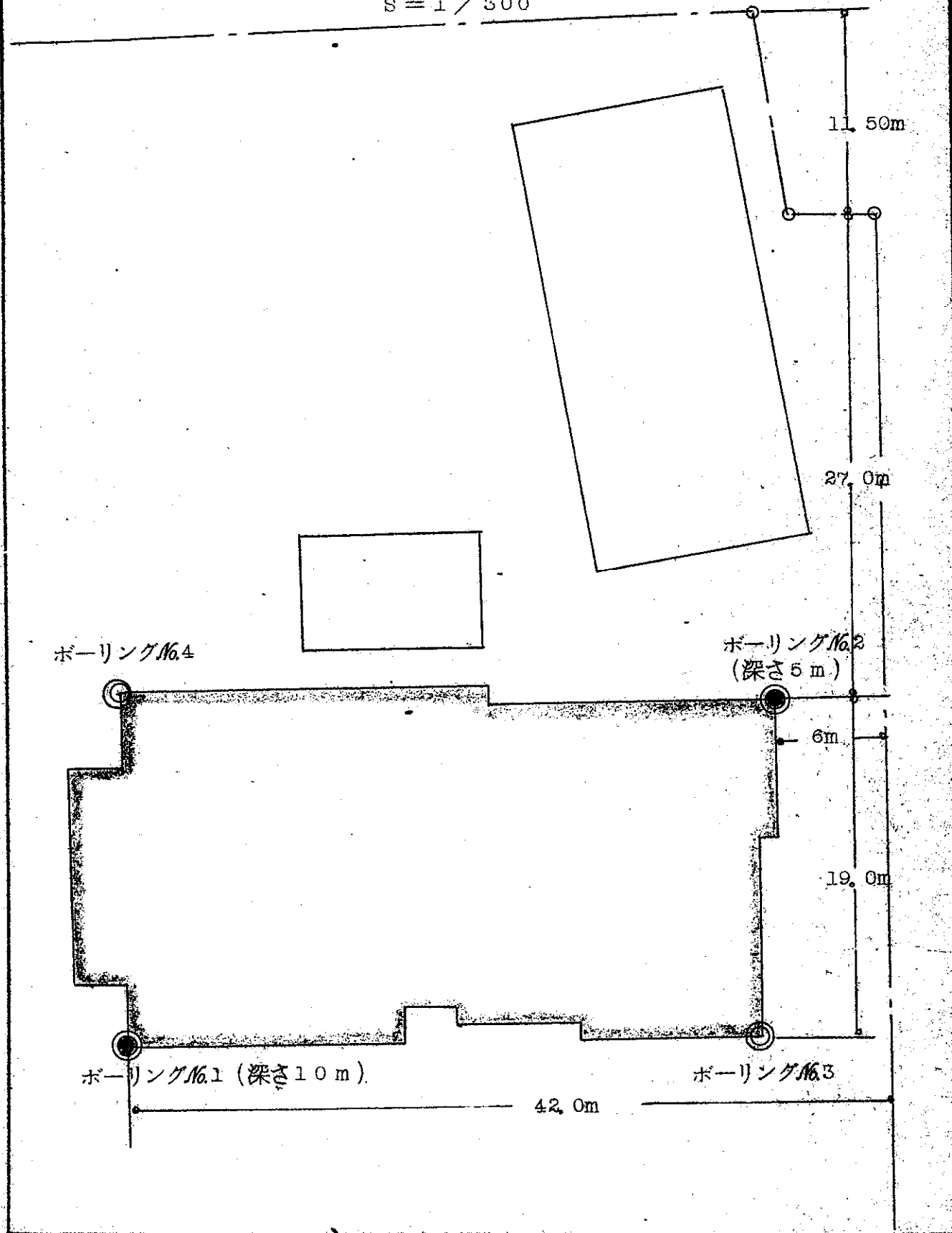
栃木県土木部建築課

案 内 図



県南高等看護専門学院新築工事に伴う地質調査位置図

S = 1 / 300



ボーリング柱状図

調査名 県南高等看護専門学校新築工事に伴う地質調査 孔番 No. 1 地盤高 m

調査場所 栃木市大塚町地先 (基準面)

地形 摘要

調査期間 昭和 50 年 2 月 8 日 ~ 2 月 13 日

地下(孔内)水位 -6.50 m 調査担当者

標地下水位高(m)	深度(m)	層厚(m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料			標準貫入試験							
					色調	相対密度		番号	記号	採取深度(m)	原位試験深度(m)	打撃回数						
											10	20	30	40	50	60	70	80
	0.20	0.20	⊗	表土				1										
	1		○				上部砂を多く混入する	1	2.3.4	1.15 1.45	9							
	2		○					2	2.4.5	2.15 3.45	11							
	3		○				粒径20~30mm程度の物多く介在する	3	6.4.5	3.15 3.45	15							
	4		○					4	9.10.13	4.15 4.45	32							
	5		○				7m附近より含水多い	5	37.3	5.15 5.30	50							
	6		○					6	10.13.7	6.15 6.45	30							
	7		○				9m附近より粘土質混入する	7	9.9.10	7.15 7.45	28							
	8		○					8	8.10.9	8.15 8.45	27							
	9		○					9	12.10.10	9.15 9.45	32							
	10		○					10	8.9.10	10.15 10.45	21							
	10.05		⊗	砂礫														

(註) ○ 標本試料 ■ 乱した試料 □ 乱さない試料

ボーリング柱状図

調査名 県南高等看護専門学校新築工事に伴う地質調査 孔番 No. 2 地盤高 m

調査場所 浜木市 大塚町 地先 (基準面)

地 形 摘 要

調査期間 昭和50年 2月14日 ~ 2月15日

地下(孔内)水位

調査担当者

地下水位 標高(m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料			標準貫入試験								
					色調	相対密度		番号	記号	採取深度 (m)	原位 試験深度 (m)	打撃回数							
	0.20	0.20	X	表土	黒灰			2											
	1.30	1.10	□-△	砂	茶灰		粗砂を多く混入する		1	1.1.1.	4.15 4.45	3							
	2.80	0.50	○	砂			含水多量		2	9.5.5	2.15 2.45	19							
			○		茶灰色		含水多量		3	10.10.9.	3.15 3.45	29							
			○				粒径20~30mm内外存在する		4	10.14.12	4.15 4.45	36							
	5.45		○	砂					5	12.2.14	5.15 5.45	38							

(註) ○ 標本試料 ■ 乱した試料 □ 乱さない試料

ボーリング柱状図

調査名 県南高等看護専門学校新築 孔番 No. 3 地盤高 _____ m
 調査場所 工事に伴う地質調査 (基準面 _____)
 地形 _____ 摘要 _____
 調査期間 昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 年 _____ 月 _____ 日
 地下(孔内)水位 7.00m 調査担当者 _____

標地下水 高水位 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	土質	土性		備考	(註) 試料		原位置 試験深度 (m)	標準貫入試験 打撃回数								
					色調	相対密 稠度		番号	記号		採取深度 (m)	0	10	20	30	40	50	60	70
	0.70	0.70		盛土	暗褐		ローム、礫、ニ ンクリート等												
	1.80	1.10		口一ム	暗褐		上部草の根混る 水分少ない	3	1	11.0.10	1.15 1.25	2							
	3.70	1.90		中砂	茶灰		まばらに小礫 混る		2	1.1.1	2.15 2.45	3							
									3	1.3.7	3.15 3.25	11							
							7m附近まで水 分含まない。		4	2.9.8	4.15 4.25	26							
							全体で漏水あり		5	2.5.1	5.15 5.25	6							
							礫φ10% 20%混入多い 折々70% 90%介在する		6	3.0.28	6.15 6.35	65 70							
							9.20m附近よ り粘土質含む 薄層の砂質粘土		7	1.8.15.11	7.15 7.25	11							
									8	11.11.10	8.15 8.25	32							
									9	2.8.25	9.15 9.35	61 70							
	10.45			砂礫					10	11.20.16	10.15 10.45	52							

